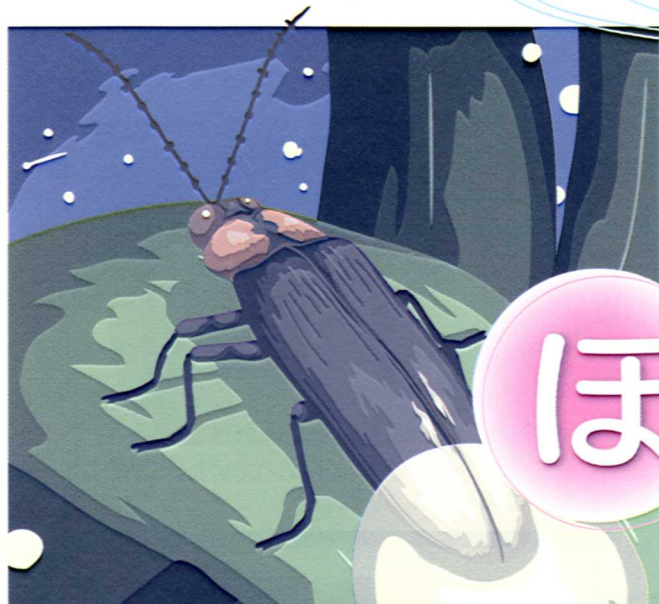


溪声

ほ

たる

の里の環境調査



↑水棲生物調査の様子



↑エコレンジャーと水質試験



↑見座浄化センター見学の様子

株式会社和仁農園さん主催で7月15日(火)に行われた「ほたるの里の環境調査」に、当社のメンテナンス課と分析課から、それぞれ3名が参加しました。今回は強い日差しの中、なんと、あの環境戦隊エコレンジャーが飛び込みで参加してくれました。

上宝町見座地内は、ゲンジボタルが多く飛び交うことで知られています。最盛期には整備された流路付近の木々に、クリスマスツリーの飾り付けのようにホタルが舞う姿が観られ、遠くは名古屋からもホタル観賞に来られるとの事。2009年から行われているこの調査は今回で6回目となり、本郷小学校5年生11名と一緒に調査を行いました。小学生のこどもたちと地域の関係者が一体となって環境調査をすることで自然環境の重要性、水をきれいにすることの意味を知り、ふるさとを自分たちで守っていこうという取り組みの一環でもあります。最初に、見座浄化センターを見学し、家庭からの汚水が浄化される仕組みを、実際の施設と水を見てもらいながら説明しました。その後、川へ移動し、高原川漁業協同組合さんのご協力、稚魚(ヤマメ)の放流と水棲生物調査を行いました。

次に浄化センターと高原川の水を採取し、エコレンジャーと一緒に、COD(有機物による水の汚れの指標のひとつ)、アンモニア性窒素、透視度を測定しました。浄化センターから出る汚水が処理されてきれいな水となっていること、また、ホタルが棲む高原川の水がきれいなことを学びました。

今後もこのような取り組みを通して、毎年、多感な時期のこどもたちを起点にしながら、ホタルの棲む水をきれいに守っていこうとの動きが継続していけば素晴らしいなと感じました。私たちが引き続きその一助になっていければと思っております。



かんきょう事業今昔物語⑥

当社ではいくつかの環境にかかわる業務を行っています。
では、ずっと昔、ご先祖様たちの姿はどのようなものだったのでしょうか？
数回シリーズでお届けいたします。

今回は水道の歴史についてお話しします。

水道が無い時代、水は生きていくために不可欠なものでしたから、人々は飲み水を手に入れやすい場所で生活を営んできました。

川の水や池の水などを直接飲んだり、井戸を掘ったり、桶などに汲んで人力で遠くまで運んだりしていました。

日本で初めて飲用のために布設された水道は、1590年(天正18年)に徳川家康が江戸入府にあたって作った「小石川水道」と言われています。

江戸期の水道は、どれも水源からの傾斜を利用して、市街の配水路に木樋や土管、石管などを使い、各戸へは木樋や竹管を使って給水をしていましたが、隙間やつなぎ目から外部の汚れた水が入ったりして、衛生的な水を確保するのは難しく、水当たりで亡くなる人も出たそうです。この時代の平均寿命が短かったのも、水の衛生状態に大いに関わりがあるとされています。

ポンプで送水する近代水道ができたのは1887年(明治20年)のことで、相模川上流を水源として横浜で作られました。

近年は、外部から汚染されないように密閉された導管を使い、ポンプの圧力で広い範囲に常に安定して供給するようになっています。

水源の水を、何層もの砂利でゆっくりと時間を掛けて過して砂利の表面に繁殖する微生物で浄化したり、薬品を加えて短時間で大量にろ過したり、浄化方法はさまざまですが、飲用に適した、安全でおいしい水を届けています。

水 道

の

歴 史



昔使われていた水道管



近年使用されている水道管



しあわせになる条件 その30

ふとテレビに目をやると、「南国の不夜城24時間超巨大スーパー」の文字が飛び込んできました。鹿児島県の阿久根市にある全国で2番目に大きいスーパーA-Zでした。なんと、面積が2万㎡、1時間歩いても5分の1しか回れないという想像をはるかに超えた大きさで、食料、衣料、は言うに及ばず軽自動車まで並んでいるというから驚きです。「いつでも前進、いつでも安心、いつでも安い、年中無休、24時間営業」そして「お客様のリクエストがあれば可能な限り商品を取り扱います」がモットーなのだそうです。自家用車がないと行けない?いいえご安心ください。片道百円の送迎バスが行き来し、高齢者には5%のキックバック付きなのですから。これは行くしかないとなるのでしょう。連日大賑わい。ルポは3日間72時間にわたり、そこを訪れる人々の様子を描いていました。プリクラが大好きな14歳と16歳のカップルは青春真っ盛り!母と娘で居酒屋をやっている親子は仕込みの材料の買い物に。「お店に来てね!」スタッフに愛嬌を振りまく。「衝動買いしちゃうのよ」と大口を開けて笑うおばさんは近所の人と会ったとおしゃべりに花が咲く。「毎日来るよ。一日もかかさずにね」と買い物袋を手にニコリほほ笑む60代の男性。みんななんて幸せそうな笑顔なのでしょう。陸送の途中にいつもお弁当を買いに立ち寄るといふ陽気なトラック運転手は、61歳独身、運転が大好きで、人生は気楽が一番と、真っ黒に日焼けした顔を、くしゃくしゃにして「じゃあ!」と手を振るとまた走り去る。「彼女を待っている」という80歳のおじいさんがいた。一日中休憩コーナーにいる。大阪に30年いたけれど奥さんが亡くなって、人恋しくて故郷に戻ってきた。しかし知り合いがみんな亡くなっていて、ここで話し相手を探しているのだという。にこにこ話す顔には、安堵の色が浮かんでいる。何しろ人がいっぱい、彼女(?)もよりどりみどりののだから。「あっ!ここにもいました“マイルドヤンキー”たちが!」ご存知でしょうか。実家と仲間と地元をこよなく愛し、5kmの範囲で十分満足する彼らは「絆」を何よりも大切にしている。結婚も早く、家族が来ると、家族ぐるみで付き合う。そしてショッピング

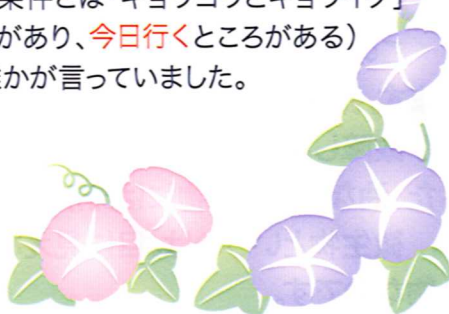


尾山敦子 キャリアカウンセラー

センターで1日過ごすのが、彼らの週末の恒例になっているとのこと。そんな“マイルドヤンキー”達は今全国的に見られ、新しい消費のターゲットとして期待されているのです。5人の若者はスーパーの外にあるベンチに集っていた。介護士、建築業、フリーター、板金工、仕事は様々だが、皆穏やかで幸せそうだ。夕方になるとスーパーの弁当を買ってみんなでワイワイ食べる。他愛もないおしゃべりが延々と続く。午前4時、車いすのおじいさんがやって来た。昼間はみんなの迷惑になるからと、早朝に畑にまく農薬を買いに来たとのこと。“マイルドヤンキー”達が飛び出す。みんなでおじいさんの買い物を手伝ってあげる。「ありがとう。千円あげる。ジュースでも買いな」「いいですよ」そう断るとまた車いすを押して、おじいさんを送り出す彼ら。がらんとしたスーパーにほのぼのとした空気が流れる。南国の空が何時しか薄らと白む。

阿久根で見つけた小さな幸せのかずかず。

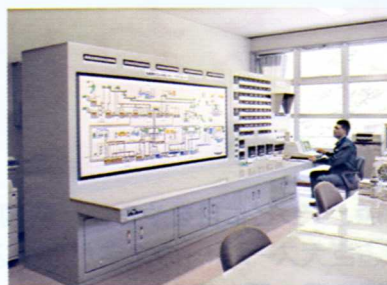
私の心までふんわりと温かくなった。そういえば、幸せの条件とは「キョウヨウとキョウイク」(今日用事があり、今日行くところがある)ことだと誰かが言っていました。



こんにちは! メンテナンス課です!

No.03

今回は、
浄化槽の中で
活躍している
微生物について
お話しします。



微生物とは人間の目では構造が判別できないような微小な生物を指します。微生物は地球上のあらゆる生物圏に生息しています。身近なところでは納豆をつくる納豆菌やカビなども微生物です。

汚水の浄化に関与している微生物は、1,000~2,000種類にも及ぶとされ、その大きさを例えるなら、人間を富士山の大きさにすると米粒くらいになるそうです。その数えきれないほどの微生物たちに空気の泡を吹き込みます。これを、ばっ気といい、酸素を吸って活発になった微生物はエサとなる有機物(汚れ成分)をどんどん食べて分解してくれます。成長、増殖を繰り返した細菌(バクテリア)を食べる原生動物や、さらに大きな後生動物がいて、一連の食物連鎖を形成しています。

汚水を浄化してくれるバクテリア



エピスティリス



ポリティセラ(ツリガネムシ)

このような微生物が、浄化槽のなかで生活排水の処理に大きな役割を果たしてくれています。微生物を元気な状態に保つためには酸素が必要です。浄化槽に酸素を送るブローが故障したり、コンセントが外れていると良好な処理が出来ず、悪臭の原因にもなります。また、油なども微生物には分解されにくいので、できるだけ流さないようにして下さい。

微生物というのは、目に見えないところで人々の生活に影響をあたえている、大切な生き物なのです。

PM2.5について

今回はPM2.5の影響を少なくするためにはどうしたらよいか、いくつかの方法を紹介します。



マスクの着用

ただし、顔の大きさに合ったもので隙間がないように着用しなければ効果はありません。



空気清浄機

フィルターの有無や性能など機種によって異なってきますが、性能試験により一定の有効性が確認されています。



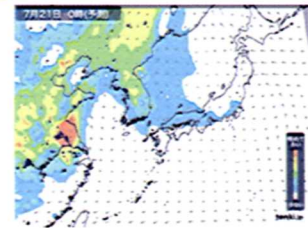
日常の健康管理

高感受性者(特に呼吸器や循環器系の疾患がある人)は、日頃から健康管理や禁煙に努めるとともに、体調の変化に注意することが重要です。

PM2.5の分布予想図は、いつでもパソコン等でみられるサイトがあります。

- 「PM2.5分布予測」 日本気象協会
- 「PM2.5アラート」 Twitter Facebook
- 「リアルタイムPM2.5マップ」 環境省・そらまめ君

ぜひ検索してみてください。



Check!



このコーナーでは、当社の社員が、環境衛生の仕事の現場で見たこと、感じたこと、あるいは仕事に関係のない趣味の世界を、交代で思いつくままに書き綴っていきます。

山菜採り

●平成15年入社 業務課所属 白木 清(しろき きよし)



4月から5月頃にかけてよく山菜を採りに行きます。とくに竹の子採りが好きで、山の中をはいずりながら、リュックサックがいっぱいになるまで採り、満足感を得ています。

また、それを料理する事が好きで、竹の子を肴に仲間達と飲んだりしています。

アユの刺し網が解禁となりました。獲れたてのアユを食べるのがとても楽しみです。

山、川問わずゴミが落ちています。きれいな神岡のままにいてほしいと思いますので、みなさんのご協力よろしくおねがいします。

「エコサポートかみおか」ができました!



下記の品目が持ち込めます

平成27年度から、市内全域のリサイクル可能なごみは、古川町に建設される新リサイクルセンターに集約されることとなります。現在稼働中の飛騨市指定リサイクル施設(神岡町坂巻)の受け入れ業務は来年3月末で終了となる予定です。

当社では、住民の皆様のお役に立てるような手立てはないかと、模索してまいりました。その結果、持ち込んでいただける施設を当社敷地内に建設し、9月から「エコサポートかみおか」として一部運用を開始いたしました。

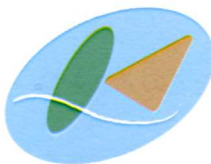
下記の品目は、無料でお引取りいたします。それ以外のものについては、現在お引取りできません。可能となりましたら、追ってお知らせいたします。

受け入れ日時 9:00~15:30 (月~金曜)



引取り可能品目 (建屋内に青看板で表示されたもの)

段ボール	新聞	雑誌	牛乳パック	小型家電 (リサイクル家電は除く)
ペットボトル (ラベル・キャップを外し 洗浄済みのもの)	一升瓶・ビール瓶 (他の瓶は不可)	缶 (アルミ・スチール)	金物	廃食油 (ペットボトル等に 入れて)



株式会社 神岡衛生社

〒506-1147 飛騨市神岡町東雲375番地

TEL0578-82-0337 FAX0578-82-5846 URL <http://www.k-eisei.co.jp/>

ホームページからもお問い合わせ、ご注文など承っております。なかなか電話する時間がない方も、そうでない方もお気軽にどうぞ。

業務内容

- 一般廃棄物収集運搬/し尿、ゴミ(一般家庭・事業系)
- 産業廃棄物収集・運搬
- 浄化槽清掃
- 浄化槽保守点検
- 浄化槽工事
- 上下水道設備工事
- 下水道施設維持管理(終末処理場・管路)
- 衛生設備維持管理
- ビルメンテナンス/床清掃、排水管清掃、貯水槽清掃
- リースキン代理店
- 水質分析/環境分析、排水分析、建築物飲料水水質検査
- 環境衛生関連商品販売
- 墓石清掃
- その他、環境衛生に関する全般のご相談に応じます。